

令和4年度 第5回 藤沢市立善行学校 学校運営協議会会議録

開催日時 2023年2月27日（月）10時～11時45分
場 所 善行中学校 会議室

出席委員	<p> 亀谷 亀雄（会長・善行地区自治会連合会副会長） 高森 保明（副会長・校長） 植木 春雄（善行地区自治会連合会会長） 木村 徹（善行市民センター センター長・善行公民館 館長） 諏訪 理恵（善行中学校PTA会長） 松本 美由紀（社会福祉協議会（CSW）） 齊藤 正枝（善行三者ふれあいネットワーク会長・善行地区青少年育成協力会会長） 人見 甲子郎（NPO 法人森の仔じゅうがっこう事務局長） 山田 大（教頭） 高塚 朝未（生徒支援担当教諭） </p> <p>【欠席】なし</p> <p>※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、非公開で開催</p>
次第	<p>1. 来年度の学校運営方針についての協議</p> <p>①学校評価の検討</p> <p>②今年度の協議会を振り返って</p> <p>2. その他</p>
協議内容	<p>最近の学校の様子を学校長より説明</p> <p><校長></p> <p>校長あいさつ、明日いよいよ公立高校の合格発表で3年生は落ち着かずそわそわしている。1年生は平和学習、八ヶ岳野外体験教室、いのちの授業、ランニング教室など様々な行儀を予定しています。2年生も百人一首大会や進路保護者説明会などが予定されており、いよいよ進路に向けた取り組みもスタートします。3年生は特別日課で校外学習を楽しんでおり、これからは卒業式に向けた練習に取り組んでいきます。6組（特別支援学級）はお別れ遠足に行ってきました。次年度は面接が廃止になり、主体的に学習に取り組む態度の評価が取り入れられるなど公立入試の内容が一部変更されます。職員のLGBTQの理解を深める研修に続き、生徒向けに事前学習を実施して3/14（火）には生徒向けに講演会を予定しています。卒業式・入学式は昨年度に引き続き、来賓の参列はご遠慮いただいております。</p> <p><会長></p> <p>今年度最後の運営協議会ということで、次年度に向けてこのメンバーで総括的なご意見を頂戴し、有意義な協議が行われますようお願いいたします。</p>

1. 来年度の学校運営方針についての協議

①学校評価の検討

<事務局>

「2022（令和4）年度 学校評価結果のまとめ」についての説明

<人見委員>

「学校に行くのは楽しい」の項目において「あてはまらない」の回答が減っている。その一方で職員の「あてはまる」が減少している。この原因については何か。

<高森校長>

生徒の「あてはまらない」が減っているのはよいこと。職員の回答は「学校が楽しいと感じている生徒」に対するものであるが、楽しいと感じている生徒が減っているという職員の感覚的な印象という以外に、評価が低下している明確な理由が見当たらないので、今後探っていきたい。1年生の数値については、中学という一つ高いステージに上がったことにより要求されるものも高くなり、それに対してまだ順応できていない様子の現れと捉えている。1年生はレクなど楽しめる行事も多く取り入れているので今後期待したい。

<会長>

生徒・保護者の自由記述に対する学校の見解はどのように捉えているのか。

<高森校長>

施設面に関しては、施設課に毎年要求しているが、予算の関係もありなかなか改善されない。教員に対する指導へのコメントに対しても本人に確認・指導を行っている。信頼関係が大切であり誤解を招くような発言にも注意を促している。すべての数値・コメントについて全職員で共有している。

<会長>

地区防災訓練については、長年の要望が実現した。

<植木委員>

今年度初めて実現することができ、全校規模で実施することも視野に入れ今後とも継続してほしい。

<植木委員>

不登校に生徒の理由は、捉えていますか。

<高森校長>

原因はそれぞれで、どれか一つと言うこともなく。保護者も把握し、原因や対策も含め画一的に有効な手立てがない状況である。

<会長>

不登校については、前回の協議会で行われた人見委員による学習会は大変有効であった。

<人見委員>

質問項目にはいずれも「生徒が」というものが入っているのか。

<高森校長>

保護者・職員のアンケートについても対象は「生徒が」という設定になっている。

<齊藤委員>

コロナ禍の制限が多い中でも、学校が楽しいなどの前向きな回答が上昇している

ことがうかがえ、うれしく思う。紙ヒコーキ大会の企画は、以前文化祭において理科部の生徒が体育館の端までヒコーキを飛ばしていたのがきっかけで実現した。中学生が幼い子を指導する場面も見られ、とても心温まる交流ができた。今後も続けていきたい。

<諏訪委員>

いじめに関する取り組みについて、数値が低下しているが、学校としてどのように取り組んでいるのか。

<高森校長>

いじめの要因を取り除く取り組みを行っている。「ストレスマネジメント（2年）」、「アンコンシャスバイアス（全校）」「情報モラル教育（2年）」などいろいろな研修を通して、自分も人も大切にしている活動を行っている。

<諏訪委員>>

教員の研修が重要では。

<高森校長>

職員会議の中で日常的に理解を深める研修を行っている。LGBTQに関しては、まず職員の研修を行い、生徒の講演会に繋げている。

<高塚委員>

最近のいじめは表面的には見えにくい。SNSでの書き込みなどが代表的であるが、それを踏まえて2年生では情報モラルの講演会を実施している。生徒の表情や言動に注意して、日々いじめ防止には取り組んでいる。

<木村委員>

防災訓練は地域の目標として取り組んでいる。中学生の救助に関わる人材として大いに期待しており、3年生の防災教育が今後予定されているが、地域としても充実させていきたい。

<松本委員>

福祉の立場から、最近の状況の変化は感じている。学校の取り組みから、いのちの大切さやいじめについては、地域も含めて一緒に考え学んでいきたい。

<人見委員>

学校がたくさん様々な活動に取り組んでいることは把握しているが、保護者に対する啓発が不足しているのではないかと。保護者が参加したり、保護者に情報を発信したりすることが大切ではないかと。学校と家庭と一緒に学習する機会を設けてみてはどうか。また、校長・教頭・支援担当などがパネリストとなって不登校やいじめに関してディスカッションする場を設けてはどうか。

<松本委員>

今後、2年生で認知症サポーター講座が行われるが、そこでも保護者の参加や不登校生徒への配慮があり、学校全体で取り組んでいることがうかがえる。

<会長>

自由記述を見ると、辛辣な意見も多いがそれぞれに学校が真摯に対応しているという高森校長の説明だったので、今後とも丁寧な対応をお願いします。

②今年度の協議会を振り返って

<会長>

今年度当初、なんとか善行中学校のお役に立ちたいという思いで会長という立場で会を進めて来ましたが、今年度の振り返りや次年度への提案を伺いたいと思いますので、各委員からお話をお願いします。

<植木委員>

おはようボランティアしているが、声が出ない子などがいることを広報誌に記載するとお叱りを受けることがある。「自分からあいさつしている」の項目に生徒の意識と職員の捉えに差があるのはなぜか？自分も生徒のあいさつに対して善行中職員と同じ感覚である。その点は少し気になる。

<人見委員>

子どもたちをなんとかすると考えるより、地域の大人がどれだけ気持ちのいいあいさつするか、が重要ではないか。いろんなものをかかえた生徒たちを見ていると、リアクションが弱い子が多い。それでも小さな声で返してくれる子に感謝している。そういう活動を広めていってほしい。

<事務局>

一年間を総括して、校長よりお礼を申し上げます。

<高森校長>

善行中学校（3年生）の全国学力・学習状況調査の結果より、「自分には良いところがある」等の回答が全国・藤沢に比べて高い。地域の皆様の支えもあってのこの数値ではないかと感じる。地域と学校の垣根は元々感じていないが、より一層その思いを強くした。ヤングケアラーの研修を通して、居場所の大切さを実感した。学校と地域がこどもの居場所となるよう協力していきたい。

<教育総務課 吉田さん>

教育総務課の吉田と申します。今年度最終回に参加させていただきましたが、教育総務課はコミュニティースクールの所管をさせていただいています。このコミュニティースクールの目的は、まずは学校を知っていただく、そして学校やこどもが抱える課題に対して、地域やご自分の団体がどのように関わられるのかということをお考えいただき、学校を支える役割を担っていただきたい。今年度の取り組みを、次年度以降に生かし、次年度からコミュニティースクールをスタートする学校の研修に取り入れていきたい。機会があればぜひ研修へご参加くださいますようお願いいたします。すぐに成果の出る活動ではありませんが、引き続きご支援賜りますようお願いいたします。

<授業参観・校内施設見学>

学校運営協議会終了後、委員の皆様と授業参観、校内施設見学を実施して終了した。

次回開催日程 2023年 4月28日（金）10時～
場所 善行中学校 会議室